



アンビシャス



支えられるだけじゃなく、
支え合える人でありたい

表紙は語る

「筋ジストロフィー」

アンビシャス通信

9月の報告あれこれ

こころの現場から

つぶやきチャンプルー

シリーズ第7回

『患者学』加藤 眞三教授

沖縄県難病団体の掲示板

団体定例会・交流会スケジュール

沖縄県内難病患者団体一覧

アンビシャス広場

エッセイ 諸喜田 美智代さん

患者団体からのお便り

読者の声

難病短歌・川柳

お勧め映画情報

占い

編集後記

アンビシャスメモ

保健所からのご案内

表紙は語る

新里 龍太(しんざと りゅうた)さん

筋ジストロフィー

支えられるだけじゃなく、
支え合える人でありたい

私は先天性筋ジストロフィー症
ウーリッヒ型です。生まれつきだっ
たため、病院をいろいろ回ったとい
ます。両親は生活や勉強などのこと
も考えて、2歳の時に実家がある久
米島から離れた沖縄本島の施設へ私

を預けたそうです。その施設は筋ジ
ストロフィーの専門でもないし、ウー
リッヒ型と言うのは知られてな
く、当時は別の病名でした。先天性筋
ジストロフィー症ウーリッヒ型だ
と私が知ったのは10代後半でした。

その頃になると障害のことも受け入
れられていたので、病名がどうであれ
「そうなんだ」という他人事のような
感じしかありませんでした。

しかし、若い頃はかなりいろいろなこと
に悩みました。なぜ親元から離れて
生活しなきゃいけないのだろうか、な
ぜ自分だけがこうなのかなど。

ウーリッヒ型の特徴として10代の
頃の進行がすごく早いです。大きな
特徴として特に呼吸器官にすごく症
状が現れます。私も15歳の時に風邪
から肺炎を起こして呼吸障害が出ま
した。その時に気管切開(喉に穴を開
けカニューレと言うチューブを入れ
る手術)をしました。

当時は一刻を争うほど緊急で筋ジス
トの専門ではない一般病院で手術をし
ました。命が助かった代わりにその時
に声を失いました。

コミュニケーションが好きな私に
とって声を失うことはすごく衝撃的
なことで、その後もいろいろなことが
ありショックが大きく自分らしさを
失っていた時期がありました。

転機となったのが、筋ジストロフィー
専門の病院に転院したことです。
そこでは私と同じような病気の



故郷久米島の名所 奥武島の石畳(左)と、立ち神(右)の絵画。

人がたくさんいて、音楽や絵画やパ
ソコンなどいろいろな活動に積極的
でみんながかっこよく輝いて見えま
した。負けず嫌いの性格なので自分
もやれば出来るんじゃないかと思
い、そして先生方も私に出来ること
や、何にでも興味を持つようにと、い
ろいろなことをさせてくれました。
そのことがあり、絵画や書道に作詞
なども始めるようになりました。

高校を卒業して療養を続けなが
らいろいろな活動をして行く中で、
病院や施設生活では限界を感じ、そ
れと同時に自分らしきのある生活、
自己決定・自己選択の出来る生活
がしたいと地域生活をすることを
決意します。2歳から25歳まで施設

や病院生活をして来て、25歳の6月に地域生活をスタート。地域生活をはじめた頃に、出会った介護者と互いに何かしたいなと話したことがきっかけで、介護者の2人は写真をやっており、私は絵画をやっていたので、3名のメンバーで2007年にアートチームPA(ピーエー)を結成。チームPAの「PA」は、「photo is art. Art is heart.」の略で、写真は芸術！芸術は心！と言う想いから命名。



制作風景。右ページの絵画、奥武の巖石を描いているところです。



初期のころの書(左)と大好きなイルカを描いた一枚(右)。

が芸術に触れる空間を目指し始めました。また、沖縄の自然に魅せられ、動植物に魅せられた私たちからの、環境破壊や自然・動植物保護へのメッセージを含む展示会です。

そして、チームPAの3人の心を揺さぶる作品を多く生み出す、アーティストにゲストとしてPA展に参加していただき、プロ・アマ問わずアーティストの作品を多くの人へ届けるきっかけをつくる場でもあります。

私達の活動に賛同してくれる方々にもスポンサーとして参加いただいたりと、アーティスト以外の多くの方々の協力によって、私達の活動は成り立っています。

また、いろいろな繋がりから、芸術活動だけではなく、大学や専門学校など、呼ばれればどこまでも出向き

いろいろなところで講演会も行っています。

私はこれまでたくさんの人に会いたい、たくさんの人に支えられて来て多くのことが出来て、経験して視野も広がりました。そして今後もそれは続くでしょう。私は誰かに支えられていないと、人の手を借りないと生きて行くことも出来ないと言っても過言ではありません。

しかし、支えられているだけではダメだと思ふのです。そこで私に何が出来て、何をすべきなのかと考えた時に、インターネットのブログやソーシャルメディア、アート活動や講演会を通して私なりの表現方法でみんなにいろいろなことを伝えて行くことだと思いました。



行きつけの中村洋装のオーダースーツで、お洒落な新里さん、ファッションにもこだわります。



語者プロフィール

新里 龍太さん

(しんざと りゅうた)

1978年久米島に生まれる。先天性の筋ジストロフィーの為、2歳より25歳まで本島の施設や病院で過ごす。その後、自分の可能性に挑戦し地域生活をスタート。2007年アートチームPAを結成。毎年メンバーと一緒に様々な作品の展示企画、アート活動を行う。また大学での講義や様々な場に出向き講演会も行う。

ギャラリー『龍～RON～』

ブログ <http://kaigaten.ti-da.net/>

私の表現方法から何かを感じてもらうことで、その人のお役に立てれば幸いですし、私の人生のテーマである「支えられるだけじゃなく、支え合える人でありたい」へと繋がります。

今後の夢や目標、やりたいことはたくさんあります。第一に障害の有無にとらわれず必死に生きること。(人間は必ず死ぬのだから必死に生きることがないのだ。)

私の最大の野望は、愛する人と一緒にたつて素敵な生活を送ることです。家族を作って生活するために、家族を守る生活が出来るだけの収入を得ることこそが、夢であり目標であり、自分へのノルマであります。(笑)

アンビシャス通信

9月の報告

あれこれ



難病ユイマール

多系統委縮症を患い、人工呼吸器での闘病生活を長い間続けられていたS・T様が残念ながらお亡くなりになりました。ご本人は闘病生活の間も家にはこもらず、なるべく外の空気に触れるため積極的にドライブ（家族の運転で）にも出かけ、思う存分生き、悔いのない人生だったと思うと奥様は話しておりました。

また通常の食事は摂れなくとも、少しでも味や香りを楽しんで欲しいと、奥様は食材をすりおろしたり、つぶしたりして食事を楽しんでいたそうです。そこで奥様より同じような状況にある方に少しでも食事を楽しんで欲しいと、低残渣の食品パックを袋いっぱい頂きました。早速同様な患者が多いALS協会の新里事務局長に連絡すると「今それが必要としている方がいらつしやる」と直ぐに駆けつけ、その方のお宅へ届けられました。受け取られた家族より丁寧なお礼が

あり、私たちもその仲介が出来た事はこの上ない喜びでした。

この件のように当事者ならではの食生活の工夫や、いろんな悩みの解決策等を患者団体に繋いだり、頂いた必要品等の橋渡しも承りますので遠慮なくご用命ください。

*ユイマール（沖縄方言 直訳すると「結び廻る 助け合いを意味する」）

前期PC教室終了

ご好評を頂いているパソコン教室の前期が終了しました。講師をされている安和先生の懇切丁寧な指導もあり皆さん毎回教室を楽しみにされていて、めきめき上達。スタート時は文字の打ち方さえままならなかった方が、今ではオリジナルの名刺づくりや、文中に写真を入れる方法に挑戦とその上達には目を見張るものがありました。



生徒のみな様は名残惜しそうです。今月で卒業頂き、来月よりまた新しいメンバーでスタートします。後期は既にご予約の方で定員

に達しましたが、途中空きがある場合もありますので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。

メガネ一番様ご寄附

9月25日メガネ一番様より創立28周年記念チャリティゴルフ・コンペ時の募金呼びかけと、各支店の募金箱を合わせて40万円近くの寄付を頂戴しました。メガネ一番様やコンペでご協力を頂いたみな様に深く感謝申し上げます。

メガネ一番様では毎年このように多額の寄付を難病支援金としてアンビシャスと盲導犬導入資金として沖縄県視覚障害者福祉協会（沖縄協）へご支援を頂いています。

アンビシャスでは難病相談以外にも様々な支援活動をしています。その一つにみな様がいまお読み頂いている難病情報誌としての会報誌の毎月発行があります。会報誌では毎月いろいろな難病当事者の方に体験談を語って頂き、他の読者の方に「二人ではない」「病にあつても前向きに生きている方がいる」というエールを送っています。

8月号では網膜色素変性症により全盲となった桐原好枝さんに自身の体験を語って頂きました。桐原さんは

6年ほど前に沖縄協の事務局長からの勧めで盲導犬ウィービーと暮らすようになり、活動範囲がとても広くなったと、アクティブに生活している様子を語ってくれました。

メガネ一番様の寄付が沖縄協からの盲導犬導入につながり、盲導犬により活き活きとした生活を送る桐原さんを、同じくメガネ一番さんの寄付支援で会報誌等の維持やその他活動に充てているアンビシャスが、会報誌を通じ他の難病の方に伝え、そのことにより難病者として生きていく上でいろんな刺激や勇気を多くの読者が受ける。すべての面でつながりを感じた今回の贈呈式でした。



こころの 現場から



事実、現実、真実

人は話をするときに《事実》《現実》《真実》という3つの次元で話をしています。

事実：

例えば《今日は11月1日

である》《私の名前は〇〇である》《TPPで関税が何%になった》《この疾患には〇〇という薬が有効である》等。

現実：

今あなたが生きて、身の回りに起こっている事。

真実：

あなたが感じ、あなたのところに起こっている事。

つまり、人の数だけ真実はあります。例えば、ピンクや白色のコスモスの花を見て、ある人は「秋になった」

と感じ、ある人は「オレンジ色の外来種に負けた」と感じ、またある人は何も感じない等。また例えば〇〇を服薬した際、ある人は「吐き気がする」、ある人は「頭痛がする」、ある人は効果が「楽になる」等。いずれも全て真実です。

ピアサポートの際には、この3つの次元を念頭において話をお聴きすることが必要になります。カウンセリングをするときに私が特に大切にしているのは《真実》です。

人は《真実》を傾聴されることによって自分自身や生き様を認められたと感じ、生きるエネルギーを貯め《現実》で生きていく強さを養っていくからです。ピアサポートでも《真実》を傾聴しつつ、素直に《現実》で生きていくことが

できるよう《事実》と照らし合わせて、共に歩み続けられるといいですね（こころの病が重くなる《真実》と《事実》がかき離れ《現実》で生きていくことが困難になります（その際には精神病薬が有効です））。

同病者ゆえに理解できることがピアサポートの強みです。つまり《真実》をピアサポーターが本当の意味で理解することが、より一層患者の生きる力を育むのではないのでしょうか。



臨床心理士
鎌田 依里
(かまだ えり)



つぶやき キャンブルー

難病は障害の種類のひとつ

今回のクローン病の治療で手術をして、小腸が残り190cmとなり栄養が充分吸収できない状態になっています。今はまだ大丈夫なのですが、今後更に短くなると点滴でしか栄養を吸収できなくなります。そんな状態で身体障害者手帳の申請をしたら小腸機能障害4級1種で発行されました。

役所に行つて手帳をもらってきました。役所では障害者となつて手帳を持っている人向けのサービスが色々と記載されている「しおり」をもらいました。

この資料をみてがっかりしました。難病の医療費助成について記載されていて、県内の難病の患者会の連絡先が記載されていましたが、沖縄県難病相談支援センターの記載が無いです。もちろん、難病の方の主な窓口は保健所になるのですが、難病になつても医療費助成を受けられないが、障害のサービスを受けられる方もいるので、沖縄県難病相談支援センターの案内は必須だと思っていました。平成25年4月から難病も障がいの種類になつていくのですが、市町村役場等への周知徹底が必要になります。



著：照喜名 通



シリーズ「患者学」第7回

慶應義塾大学看護医療学部
教授 加藤 眞三

医療の中のケアについて考える

慢性病患者や高齢者の増加により、医療の形が変わることが求められており、21世紀はケアの時代といわれている。「ケアをする」という行為は、本来人間として最も人間らしい行為である一方で、誰にでもできる仕事と考えられてきたため、労働としてのケアの評価は低く、賃金も低く抑えられてきた。

ケアの労働対価

医療が、個人間のものではなく社会化し、社会の仕組みとなっていく中で、その労働対価は保険の診療報酬として決められてきた。わが国では、医療のケアの部分においても、薬剤費や検査の報酬が重く、医師の診断や治療の技術が低く評価されてきた。しかし、その対価は個々の項目で評価され合算されている。しかし、ケアに関しては、頭数が大事で丸めの形で評価されている。多忙な職

場、深夜の労働、休日の労働、感情をぶつけられたり、自分の感情を抑制しなければならぬ「感情労働」であることにたいする評価も十分ではない。

ケアという行為を分解して数量的に評価すること自体が難しい。ケアは、物を生産して利益をあげ、その利益に応じて給与をえるという類いの労働ではないからだ。看護の診療報酬は患者に対する看護職員の配置の厚さに対して支払われている。したがって、若く経験の浅い看護師が、熟練の経験を積み重ねた看護師と、同等に評価されることになる。このことに関しては、医師の技術も同じ側面があるのだが。逆の視点からみれば、若い職員は給与が低くてすみ、体力もあるため、新人をそろえる方が病院経営上はよいということになる。病棟に勤務する看護師は単に頭数で数えられ、厳しい勤務条件の

中で離職率が高くなる。そして、その結果として若い看護師が多くなることになる。見方を変えれば、若い看護師が疲労消費されている職場であるということもできる。

欧米で産前産後に活躍するドウーラの存在

ケアと労働の対価について、このようなことを考えているときに、現在イギリスに住みドウーラとして活躍する木村彰鼓氏より欧米でのドウーラの事情について、公開講座『患者学』での話題提供があった。ドウーラとは、ギリシャ語の「女性の奴隷」という言葉に由来し、他の女性を援助する経験豊かな女性をさす。人類学者 ラファエル氏が母乳育児の分野で活躍するドウーラを紹介してより注目され始めた。その後、妊娠期から産褥期、主に分娩時に、サポートする新しい職業として欧米で認識され、妊産婦の精神的な安定に役立っている。現在では、エンドオブライフに付きそうドウーラも出てきており、ケアをおこなう非医療者という位

置づけとなっている。

ドウーラは専門のトレーニングや認定を必ずしも受けているわけではなく、国家資格や免許もなく、ドウーラの活動を規定する法律もない。米国では民間の団体が発行する資格を得て活動をしている。医療スタッフではないため、血圧測定などの処置や医療行為はおこなわないし、医療保険も適応されない。

次号では、このようなドウーラが存在する意味について考えてみたい。

患者の力:

患者学で見つけた医療の新しい姿

出版社: 春秋社

「患者には力がある!」 毎日を健康に生きるために、そのためには、真の患者中心の医療を実現するために、いま必要なこととは。

加藤 眞三

1980年、慶應義塾大学医学部卒業。1985年、同大学大学院医学研究科修了、医学博士。1985-88年、米国ニューヨーク市立大学マウントサイナイ医学部研究員。その後、都立広尾病院内科医長、慶應義塾大学医学部内科専任講師(消化器内科)を経て、現在、慶應義塾大学看護医療学部教授(慢性病態学、終末期病態学担当)。



2015年11月の各団体定例会・交流会スケジュール



団体名	日(曜日)	時 間	場 所
沖縄県網膜色素変性症協会(JRPS沖縄)	1日(日)	13:00~16:00	浦添市産業振興センター「結の街」2階 (医療講演会・交流会)
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会	1日(日)	11:00~15:00	那覇市保健所3階 調理室 (クローン病・潰瘍性大腸炎の 為の調理実習)
全国膠原病友の会・沖縄県支部	8日(日)	14:00~16:00	那覇市保健所3階 多目的室C
日本ALS協会沖縄県支部	8日(日)	14:00~16:00	沖縄県総合福祉センター 1階 結ホール
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会	11日(水)	19:00~21:00	那覇市保健所3階
八重山クローン病・潰瘍性大腸炎患者・家族の会	14日(土)	14:00~16:00	八重山福祉保健所
OPLL(後縦・黄色靱帯骨化症)友の会	14日(土)	15:30~17:30	那覇市保健所3階多目的室(交流会&勉強会)
宮古地区・網膜色素変性症患者・家族のつどい	14日(土)	14:00~16:00	宮古保健所1階 危機管理室
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会(中部地区)	17日(火)	19:00~21:00	沖縄市福祉文化プラザ
神経難病友の会八重山	19日(木)	14:00~16:00	福祉センターボランティア推進室
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	21日(土)	14:00~16:00	宮古保健所1階 危機管理室
全国パーキンソン病友の会沖縄県支部	22日(日)	13:00~16:00	那覇市保健所3階
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	22日(日)	14:00~16:00	南風原町社会福祉センターちむぐくる館
神経難病友の会八重山	28日(土)	調 整 中	ピクニック ※場所・時間調整中、詳細は下記連絡先まで

※詳細は下記患者団体連絡先へお問合せください。

沖縄県内難病患者団体一覧

団体名	代 表 者	連 絡 先
OPLL(後縦・黄色靱帯骨化症)友の会	黒 島 妙 子	(黒島)070-5413-8350
脊髄小脳変性症/多系統萎縮症 那覇・南部患者の会	井 上 栄 治	(井上)090-5937-5292
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎 友の会	宮 本 勝 也	(宮本)090-8413-2621 (上原)070-5819-4876 http://okinawa-ibd.ciao.jp/
全国膠原病友の会 沖縄県支部	阿波連のり子	(阿波連)090-1944-2441 http://blog.kougen-okinawa.sunnyday.jp/
もやの会沖縄ブロック	金 城 忠 英	(金城)098-879-5591
全国パーキンソン病友の会 沖縄県支部	又 吉 忠 常	(又吉)090-8294-1974
日本ALS協会 沖縄県支部	伊波多和子	(新里)090-5028-4599
全国筋無力症友の会 沖縄県支部	上 原 アイ子	(上原)090-7479-8841
沖縄県網膜色素変性症協会	長 嶺 房 子	北部部会(伊良波) 電話・Fax:0980-53-1262 中部部会(金城) メール:chi070907@yahoo.co.jp 南部部会(當間) 電話:080-6495-6846 那覇・浦添連絡員(國頭) 電話:080-2773-1571 八重山部会(平良) 電話:090-5081-5622
神経難病友の会八重山	松 藤 純	(松藤)090-6635-4185 (島仲)090-8763-3670
八重山クローン病・潰瘍性大腸炎患者 家族の集い	内 間 洋 子 村 山 盛 有	(内間)090-9784-8219 (村山)090-1179-6912
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	伊是名恵子	(伊是名)090-3792-0199
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	仲 里 清 彦	(仲里)090-8290-3569
四つ葉の会 (宮古膠原病友の会)	下 地 ヒロ子	(下地)090-5489-4109

アンビシャス 広場



エッセイ 諸喜田 美智代さん(ALS)

家族会に感謝

先日娘が患者家族の集まりに参加した。帰ってきた娘は嬉しそうにそこの報告をしてくれた。顔を見てほっとした。

その日の前日、娘とのやりとりの中でかつとなり、ひどい言葉を言ってしまった。

これまでの娘の介護の苦労を否定するような事だ。その後謝ったが、ずっと気になっていた。でも帰ってきて楽しそうに話す様子を見て心のわだかまりが溶けた。

患者家族会は、その病気の当事者、家族、遺族、同じような経験をしてき

て、お互いの悩みを理解できるので、娘の落ち込んでいる気持ちも前向きにしてくれるようだ。明るい方が多く、笑いも尽きないようで、必ず面白エピソードを持って帰ってきて話をしてくれる。辛い事ばかりじゃない、悩みも笑顔に変えてくれる患者会の存在はとても大きい。そんな患者家族会に感謝。



患者団体からのおたより

OPLL(後縦・黄色靱帯骨化症)友の会より

11月交流会のご案内

OPLL友の会の第6回患者・家族交流会を11月14日「那覇市保健所」で開催します。

前回まで南風原町の「ちむぐくる館」を中心に開催してきましたが、中部の方や那覇市内の方にも場所がわかり易く参加しやすいよう、今回は那覇市保健所を会場としました。これまで参加出来なかった方もどしどしご参加ください。今回はOPLLに関する勉強会も予定しています。

同じ悩みを持つもの同士でゆっくり語り合いませんか。お待ちしております。

【日時】

11月14日 午後3時半から5時半

【場所】

那覇市保健所3階

詳細確認は代表世話人…黒島まで

Tel 070-5413-8350

読者の声



保健師の私も、毎月「アンビシャス」を心待ちにしているうちの1人です。難病に関する相談に対応させて頂く際、私は「アンビシャス」から得た多くの情報を相談者へ伝えており、いわゆる「教科書」といった存在です。「アンビシャス」の発行に携わっていらつしやる全ての方々へ心から感謝し、毎月の発行を心待ちにしています。

保健師 A

毎月の「表紙は語る」には、難病と診断された時から現在までの症状や心境の変化など、本人の思いがたくさん詰まっております。対象者と向き合う保健師としてとても勉強になっています。また、諸喜田さんのエッセイを楽しみにしています。

保健師1年生

「読者の声」へのご投稿のご案内

みなさまからのご投稿をお待ちしています。

*採用の方には500円相当のクオカードを進呈します。

*採用の方へクオカード送付のため住所、氏名も明記してください。

*匿名希望者はペンネームもご記入ください。



お勧め映画情報

「バグダッド・カフェ ニュー・ディレクターズ・カット版」

/ 2008年 ドイツ

※オリジナルは、1987年、西ドイツ作品

映画通には評価の高い作品の一つである。
舞台は、アメリカ西部の砂漠にあるモーテル
「バグダッド・カフェ」は、砂漠のように枯れ果
てた場所。人々の心、様々な人間模様を映し、
そこにドイツ人の女性がやって来たことで、
何かが変わって行く。

BS-NHKにて11月20日(金)

午後11:45～1:34放送予定

渡久地 優子

(進行性骨化性線維異形成症 (FOP))

カラーセラピーやパワーストーンも好きで、時々、ネットで見てます。

難病短歌 難病川柳

難病川柳

難病がある方や家族の方、サポートする方々で日常感じている悲しみ、辛さ、笑い、皮肉や
優しさなどを短歌・川柳にしてご応募ください。
採用の方には寄稿料として千円相当のクオカードを進呈します。詳細は事務局までお問い合わせください。

その言葉 言われても無理 急いでよ

ペンネーム 樹々さん(パーキンソン病)
足はすくむし、手は固縮、急いで何か…してみたい。

難病短歌

バイキング 運ぶ夫に 席で指示
知らない人に かかあ天下?

ペンネーム 樹々さん(パーキンソン病)
座っていると病気だと思われず、隣席の方に「お宅、かかあ天下?」と言われ大笑い。

今月の占い

牡羊座

3月21日～4月19日
出会いで得る事を
大切に
ス：食べ歩き

牡牛座

4月20日～5月20日
自分を信じる事から
ス：おしゃべり

双子座

5月21日～6月21日
礼に始まり礼に終わる
ス：日記やメモ

蟹座

6月22日～7月22日
人は自分を映す
鏡である
ス：ガーデニング

獅子座

7月23日～8月22日
ストレスは
発散しましょう
ス：断捨離

乙女座

8月23日～9月22日
泣いたっていい、
心の浄化
ス：カラオケ

天秤座

9月23日～10月23日
悪口より褒める
事を心がけ
ス：瞑想・休息

蠍座

10月24日～11月21日
作り笑顔でも、
心は変わる
ス：ドライブ

射手座

11月22日～12月21日
最高の未来図を
描いてみて
ス：自然とふれあい

山羊座

12月22日～1月19日
不幸と思ったら
不幸が始まる
ス：料理

水瓶座

1月20日～2月18日
何かを決めるのは
自分自身
ス：ウォーキング

魚座

2月19日～3月20日
許す事は、
リセットの心
ス：ボウリング

編集後記



今月の「表紙は語る」は今年7月
に新しく指定難病となった「筋ジス
トロフィー」の新里龍太さんです。
新里さんの前向きでパワフルな生き
方には勇気付けられた読者の方が多い
のではないのでしょうか。誌面では力
強い作品群のほんの1部しか紹介で
きませんが、ぜひ作品展のある時に
ご自分の目で確認してください。

また今月は繋がり(結)を感じた月
でもありました。報告あれこれでご
紹介した、患者家族の方から頂いた
品をアンビシャス、患者会を通して
必要としている方へ届ける。いろん
な企業よりご支援を受けた各団体が
横の繋がりを持つ。
まさにユイマールの精神が息づいて
いると感じました。私たちはその輪
の一つとしてしっかりと繋ぎ目の役
目を果たしていきたいと思えます。

この処、朝夕めっきり涼しくなり
ました。明け方思いがけず冷え込む
日もしばしばです、みな様体調には
充分お気を付けてください。
そしてこれからも「結の心」で繋
がっていきましょう。

2015年 11月の各保健所からのご案内

【北部福祉保健所】Tel:0980-52-2704 11月の予定はございません。

【中部福祉保健所】Tel:098-938-9700

ベーチェット病 医療講演会&患者・家族交流会

日時：11月25日(水) 18:00～20:45 場所：中部福祉保健所 3階研修室

対象：ベーチェット病 患者・家族

講師：金城光代先生（県立中部病院 総合内科 リウマチ膠原病科）

演題：「ベーチェット病の理解と治療について」(仮題)

【南部福祉保健所】Tel:098-889-6945

進行性核上性麻痺・大脳皮質基底核変性症医療講演会および相談会

日時：11月12日(木) 14:00～16:30 場所：南部保健所 2階 大会議室

対象：進行性核上性麻痺・大脳皮質基底核変性症の治療を行っている本人及びそのご家族

※個別相談を希望される方はお電話の申し込みの際にお伝え下さい。(希望者2名程度)

【宮古福祉保健所】Tel:0980-72-8447

平成27年度 神経系難病の講演会及び相談会

日時：11月19日(木) 15:00～17:00 場所：宮古合同庁舎 2階 講堂

対象：神経系難病の患者・家族

講師：諏訪園 秀吾先生（国立病院機構沖縄病院 リハビリテーション科部長）

演題：「神経系難病の理解」

【八重山保健所】Tel:0980-82-3241 11月の予定はございません。

【那覇市保健所】Tel:098-853-7962 11月の予定はございません。

平成27年度 障害者の態様に応じた多様な委託訓練

訓練生募集の案内～障がいのある人の「働きたい」を実現するために

1月開講【募集期間：平成27年11月2日(月)～平成27年11月20日(金)】

コース名：ITビジネス科		コースの種類：知識・技能	
訓練期間：1/4(月)～3/31(木)【3か月】	定員：9名	管轄：具志川校	
募集対象：身体(上肢、下肢、内部障がい)、知的、精神、発達、その他(高次脳機能障がい、難病等)			
訓練内容： パソコンの操作、アプリケーションソフトの使用に慣れ、一般就労できる技術レベルの高い人材を育成し、社会参加の促進に寄与することを目標にする。 【学科】 ビジネスマナー、健康管理、ワークガイダンス、パソコン概論 【実技】 パソコン基礎演習、タイピング、検定対策、文書作成・表計算基礎演習、職業人講話			
訓練実施場所：宜野湾市	委託先：株式会社 チャスキ(コミュニティプラザぎのわん)(098-897-0812)		

「コミュニケーション支援勉強会」のご案内

アンビシャスでは平成24年より、在宅支援関係者向けコミュニケーション勉強会を継続開催し、療養者のみな様とのコミュニケーション力向上に努めています。今回は去年の勉強会に引き続き松尾光晴氏(パナソニックエイジフリーライフテック)を講師に迎え「意思伝達装置等のコミュニケーション機器の導入手順」をテーマに行います。

日 時：平成27年11月12日(木) 18:25～20:30

場 所：沖縄県総合福祉センター(401研修室) 東棟4階

内 容：意思伝達装置等のコミュニケーション機器の導入手順ご紹介(意思伝達装置全般、各種スイッチの適合、給付制度、他)

対象者：PT、OP、ST、医師、患者家族等 コミュニケーションツールに興味のある方

参加費：無料

*参加希望の方はアンビシャス事務局までご連絡ください。

ご寄付・ご支援・ご協力ありがとうございます 順不同敬称略

サポート・パートナー法人

●全保連株式会社 ●株式会社アイアム ●株式会社いなんせ典礼

毎月定期ご寄付の方々

●驥尾の会 ●株式会社ぼーしょん ●匿名3名

9月のご寄付

●てだこボウル ●比嘉 佑一郎 ●株式会社 メガネ一番 ●匿名2名

※ホームページにも掲載しております。アンビシャスホームページ(TOPページ)にあるコンテンツより「寄付した方々/今年度」をご参照ください。

9月のご支援・ご協力

●難病情報誌161号の折り曲げボランティアとして参加して頂いた方々

指定障がい福祉サービス事業所「あるにこ」さん

●有限会社FECオフィスよりFEC旗揚げ22周年記念公演の優待チケット4枚頂きました。

※千羽鶴ボランティアのみな様へ

現在折鶴の在庫が多く、誠に勝手ながら暫らく折鶴の受け入れをご遠慮させていただきます。

募金箱設置ありがとうございます 順不同敬称略

●ココストア浦添宮城三丁目店 ●レストラン&カフェ「オン・ディッシュ」 ●フォーモストブルーシール北谷店
●MISTY本店・美浜店 ●有限会社育英堂書房 ●てだこボウル ●西崎オートサービス ●マリンショップぶくぶく
●花野原 ●ホテルまるき ●水のサンクス ●株式会社メガネ一番 ●株式会社琉葉 ●恒和ペイント株式会社
●さわやか歯科クリニック ●三郎寿し ●海岸創庫21 ●auショップ久茂地店 ●沖縄県栄養士会
●T-SHIRT-YA.COM国際通り店・北谷店 ●カラカラとちぶぐわー ●サウンドメール ●又吉内科クリニック
●しゃしんやきんちゃんDigi-pit店 ●日本交通株式会社 ●さくら家さくら ●沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ
●豚骨拉麺昇家 ●カラオケシアターDisone ●沖縄ちゃんぶるーネット(イオン那覇店1階) ●マヤMAYA
●沖縄宝島(イオン南風原店1階) ●沖縄トヨペット株式会社港川店・中部店・小禄サザン店 ●八重山そばびんだま
●串焼き屋あだん ●山城二輪 ●社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部 ●全保連株式会社 ●シャトル・ケア
●全保連コントロールセンター ●有限会社だいにちシール ●オリオンビール株式会社 ●株式会社大成ホーム
●照正組 ●株式会社かりさら ●上間菓子店 ●HAIR&MAKE EARTH沖縄新都心店 ●メディケアセンター
●2 Da TOP(ツダトップ)ダンススタジオ ●株式会社いなんせ典礼 ●ジョッキハウス ●ギャラリーカフェ 海ばたー

法人賛助会員 順不同敬称略

●全保連株式会社 ●沖縄トヨペット株式会社 ●有限会社クニオフィスサプライ ●株式会社 アイアム
●弁護士法人 岡野法律事務所 ●医療法人かなの会コザクリニック ●さわやか歯科クリニック ●日本交通株式会社
●有限会社 翔南石材 ●しゅくみね内科 ●有限会社 ダイヤプリント ●株式会社 メガネ一番 ●株式会社ウェルビー
●オリオンビール株式会社 ●株式会社 名城 ●株式会社ざまみダンボール ●高良登記測量事務所 ●水のサンクス
●社団法人 沖縄県栄養士会 ●株式会社 アクティブ ●有限会社 長堂商事 ●株式会社 アース ●プログレス
●有限会社 沖縄矢崎販売 ●ふたば訪問看護支援センター ●株式会社 ぼーしょん ●テルモ株式会社 ●株式会社 舜
●南西医療器株式会社 ●有限会社医学写真研究所 ●株式会社いなんせ典礼 ●有限会社 麦飯石の水

みなさま、ご支援・ご協力、本当にありがとうございます。



〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-24-29(グレイスハイム喜納2 1F)

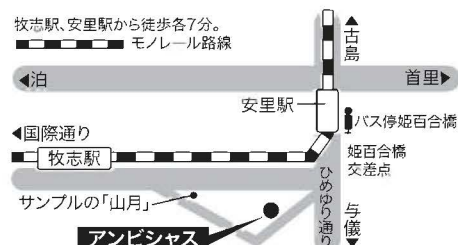
Tel:098-951-0567(代表)

Fax:098-951-0565

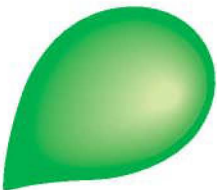
<http://www.ambitious.or.jp>

発行元/沖縄県難病相談支援センター アンビシャス(認定NPO法人)

理事長: 迫 幸治 副理事長: 照喜名 通



私たちは、沖縄県難病相談支援センターアンビシャスの活動を応援しています！



Zenhoren

全保連株式会社 代表取締役 迫 幸治
〒990-0003 那覇市安謝2丁目2番5号 TEL:098-866-4901(代表)



RYUKYU GOLDEN KINGS
http://www.okinawa-basketball.jp
facebook:Ryukyu Golden Kings Official
TEL:098-897-7331 e-mail:customer@okinawa-basketball.jp

MARKX PRIUS AQUA ALPHARD Esquire

もっとクルマの楽しさを。
Answer for you. TOYOPET

沖縄トヨペット

学問なき経験は、経験なき学問に勝る。

Answer for you. TOYOPET

複写機・OA器機リース、レンタル、
オフィス家具までトータル提案

KOS 有限会社
クニオフィス サプライ

本社 〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客1丁目20番14号
Tel:098-879-0162(代) Fax:098-879-0198
E-mail: kos-knti@nirai.ne.jp
http://www.kunioffice.net
北部営業所 〒905-0006 沖縄県名護市大北5丁目20番25号
Tel:0980-51-1600 Fax:0980-51-1601

とちかおくちょうさし
土地家屋調査士
伊波 学
098-897-1245
http://w1.nirai.ne.jp/mabu05/
e-mail:mabu05@nirai.ne.jp

お墓のしょうなん
新築・修繕・建替え
お墓の年間管理いたします
◎お墓よろず相談所(無料でご自宅へ出張OK)
《見積無料》有限会社 **翔南石材**
☎945-8771 西原町字我謝688-7

協賛広告のお願い

お申込:アンビシャス事務局
TEL:098-951-0567
e-mail:info@ambitious.or.jp

協賛広告のお願い

お申込:アンビシャス事務局
TEL:098-951-0567
e-mail:info@ambitious.or.jp